

令和7年5月30日

検 証 報 告 書

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

会長 寺田 昌弘 様

公益財団法人日本オリンピック委員会
N F 総 合 支 援 セ ン タ ー

我々は、「適正性検証業務実施要領」第 11 条に基づき、公益社団法人日本アメリカンフットボール協会が作成した下記事業に係る実施報告書にある、収支計算書、収支簿、選手強化事業内訳、旅費支給額一覧表が、準拠すべき規則に従って作成されていることを、申請書類チェックリストに基づき検証したことを報告します。

記

1. 検証の対象となった事業の概要

【対象加盟団体名】	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
【事業区分】	別紙のとおり
【事業細目名】	別紙のとおり
【事業名】	別紙のとおり
【選手強化事業 NO】	別紙のとおり

2. 検証日時及び管理者

【終了日】	別紙のとおり
【管理者】	初川 浩之

写)本報告書及びチェックリスト

公益財団法人日本オリンピック委員会

N F 総合支援センター センター長 尾縣 貢

以 上

選手強化 事業NO.	事業区分	事業細目名	事業名	終了日
1	選手強化活動事業	国内合宿	男子合宿-関西 1	令和7年4月9日
2	選手強化活動事業	国内合宿	女子合宿-関西1	令和7年4月9日
3	選手強化活動事業	国内合宿	男子合宿-関東1	令和7年4月9日
4	選手強化活動事業	国内合宿	女子合宿-関西2	令和7年4月9日
5	選手強化活動事業	国内合宿	男子合宿-関東2 (KCFA FLAG Bowl)	令和7年4月9日
7	選手強化活動事業	国内合宿	女子合宿-関西3 (New Era Huddle Bowl参加)	令和7年4月9日
15	選手強化活動事業	チーム派遣	FFWC 2024 Finland	令和7年2月25日

現在の審査結果をお知らせします。

加盟競技団体名	公益財団法人日本アメリカンフットボール協会
---------	-----------------------

事業細目	交付決定額	現在の助成金相当額	残額
選手強化活動事業	16,617,000	16,261,000	356,000
合計	16,617,000	16,261,000	356,000

事業番号	事業細目	事業の内容	事業名	助成対象経費	助成金相当額	審査完了日
24-55-001	選手強化活動事業	国内合宿	男子合宿-関西1	292,650	195,000	04月23日
24-55-002	選手強化活動事業	国内合宿	女子合宿-関西1	385,537	257,000	04月23日
24-55-003	選手強化活動事業	国内合宿	男子合宿-関東1	358,025	238,000	04月23日
24-55-004	選手強化活動事業	国内合宿	女子合宿-関西2	397,992	265,000	04月23日
24-55-005	選手強化活動事業	国内合宿	男子合宿-関東2 (KCFA FLAG Bowl)	256,240	170,000	04月23日
24-55-007	選手強化活動事業	国内合宿	女子合宿-関西3 (New Era Huddle Bowl 参加)	475,986	317,000	04月30日
24-55-015	選手強化活動事業	チーム派遣	FFWC 2024 Finland	22,228,871	14,819,000	03月25日
				24,395,301	16,261,000	

団体名 (公社) 日本アメリカンフットボール協会
会長名 寺田 昌弘

令和06年度選手強化NF事業 実施報告書

【 選手強化活動事業 ・ コーチ力強化事業 ・ 次世代アスリート育成強化事業 】
(海外合宿 ・ 国内合宿 ・ チーム派遣 ・ チーム招待 ・ 海外コーチ設置 ・ コーチ派遣)

【 強化活動のDX促進支援事業 】
※ ○ で囲んでください。

標記に関し、選手強化NF事業を実施したので報告します。

1. 事業名 男子合宿-関西 1

2. 事業内容

(1) 参加者名、人数 (参加者名簿に記載) (2) 場所(国・都市名) 尼崎ベイコム

(3) 期間・日程 2024年06月23日 - 2024年06月23日 (1) 日間

月日(曜)	場所	内容
6/23(日)	尼崎ベイコム	尼崎ボウルの前座

(4) 目 的

8月末開催の世界選手権大会に向けての強化活動。関西を拠点とするフラッグフットボールのクラブチームと練習試合。

(5) 成 果（詳細報告は別紙にて提出ください。）

遠征メンバーが決まり、プレイの精度を高める段階であるので貴重な練習試合となった。雨も降っていたので濡れたボールでプレイする感覚も体験出来た。

(6) 課 題

気温が高くなってきたので、休み時間を設けるなどの対応が必要。練習時間を長めに設定？

3.収 支 決 算 書

別記

収 支 計 算 書

選 手 強 化 事 業 No	1
加 盟 競 技 団 体 名	(公社) 日本アメリカンフットボール協会
助 成 対 象 事 業 細 目	選手強化活動
助 成 事 業 の 内 容	国内合宿
事 業 名	男子合宿-関西 1

(収入) (単位：円)

科 目	合計
J O C 補 助 金 収 入	195,000
協 賛 金 収 入	0
入 場 料 収 入	0
参 加 料 収 入	0
そ の 他 収 入	0
自 己 負 担 金	97,650
合 計	292,650

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A) - (B)	
諸 謝 金	45,000	45,000	45,000	0	0
旅 費	247,650	247,650	247,650	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	0	0	0	0	0
補 助 金	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	292,650	292,650	292,650	0	0

団体名 (公社) 日本アメリカンフットボール協会
会長名 寺田 昌弘

令和06年度選手強化NF事業 実施報告書

【 選手強化活動事業 ・ コーチ力強化事業 ・ 次世代アスリート育成強化事業 】
(海外合宿 ・ 国内合宿 ・ チーム派遣 ・ チーム招待 ・ 海外コーチ設置 ・ コーチ派遣)

【 強化活動のDX促進支援事業 】
※ ○ で囲んでください。

標記に関し、選手強化NF事業を実施したので報告します。

1. 事業名 女子合宿-関西1

2. 事業内容

(1) 参加者名、人数 (参加者名簿に記載) (2) 場所(国・都市名) MKタクシーフィールド

(3) 期間・日程 2024年06月09日 - 2024年06月09日 (1) 日間

月日(曜)	場所	内容
6/9(日)	MKタクシーフィールド	強化練習

(4) 目 的

8月の世界選手権大会に向けてプレイ合わせを中心にタイミングの確認とレベルアップ。

(5) 成 果（詳細報告は別紙にて提出ください。）

攻撃の中心選手が合流したので他のメンバーとのコミュニケーションが図れた。

(6) 課 題

大会に向けてプレイ制度を上げる必要あり。

3.収 支 決 算 書

別記

収 支 計 算 書

選 手 強 化 事 業 No	2
加 盟 競 技 団 体 名	(公社) 日本アメリカンフットボール協会
助 成 対 象 事 業 細 目	選手強化活動
助 成 事 業 の 内 容	国内合宿
事 業 名	女子合宿-関西1

(収入)

(単位：円)

科 目	合計
J O C 補 助 金 収 入	257,000
協 賛 金 収 入	0
入 場 料 収 入	0
参 加 料 収 入	0
そ の 他 収 入	0
自 己 負 担 金	128,537
合 計	385,537

(支出)

(単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	40,000	40,000	40,000	0	0
旅 費	345,537	345,537	345,537	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	0	0	0	0	0
補 助 金	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	385,537	385,537	385,537	0	0

公益財団法人 日本オリンピック委員会
会長 橋本聖子 殿

団体名 (公社) 日本アメリカンフットボール協会

会長名 寺田 昌弘

令和06年度選手強化NF事業 実施報告書

【 選手強化活動事業 ・ コーチ力強化事業 ・ 次世代アスリート育成強化事業 】
(海外合宿 ・ 国内合宿 ・ チーム派遣 ・ チーム招待 ・ 海外コーチ設置 ・ コーチ派遣)

【 強化活動のDX促進支援事業 】

※ ○ で囲んでください。

標記に関し、選手強化NF事業を実施したので報告します。

1. 事業名

男子合宿-関東1

2. 事業内容

(1) 参加者名、人数 (参加者名簿に記載)

(2) 場所(国・都市名)

オービック習志野

(3) 期間・日程 2024年06月16日 - 2024年06月16日

(1) 日間

月日(曜)	場所	内容
6/16(日)	OBIC習志野Gr.	関東エリアでの強化活動

(4) 目 的

8月の世界選手権大会に向けての練習試合でプレイの精度を上げる。

(5) 成 果（詳細報告は別紙にて提出ください。）

現役Xリーグ選手を含む相手と練習試合が出来てフィジカル面でも外国勢のシミュレーションとなった。

(6) 課 題

選手に試合運び（クロックマネジメント）を更に落とし込む。

収 支 計 算 書

選 手 強 化 事 業 No	3
加 盟 競 技 団 体 名	(公社) 日本アメリカンフットボール協会
助 成 対 象 事 業 細 目	選手強化活動
助 成 事 業 の 内 容	国内合宿
事 業 名	男子合宿-関東1

(収入) (単位：円)

科 目	合計
J O C 補 助 金 収 入	238,000
協 賛 金 収 入	0
入 場 料 収 入	0
参 加 料 収 入	0
そ の 他 収 入	0
自 己 負 担 金	120,025
合 計	358,025

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	75,000	75,000	75,000	0	0
旅 費	278,458	278,458	278,458	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	4,567	4,567	4,567	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	0	0	0	0	0
補 助 金	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	358,025	358,025	358,025	0	0

団体名 (公社) 日本アメリカンフットボール協会
会長名 寺田 昌弘

令和06年度選手強化NF事業 実施報告書

【 選手強化活動事業 ・ コーチ力強化事業 ・ 次世代アスリート育成強化事業 】
(海外合宿 ・ 国内合宿 ・ チーム派遣 ・ チーム招待 ・ 海外コーチ設置 ・ コーチ派遣)

【 強化活動のDX促進支援事業 】
※ ○ で囲んでください。

標記に関し、選手強化NF事業を実施したので報告します。

1. 事業名 女子合宿-関西2

2. 事業内容

(1) 参加者名、人数 (参加者名簿に記載) (2) 場所(国・都市名) 王子スタジアム

(3) 期間・日程 2024年06月15日 - 2024年06月15日 (1) 日間

月日(曜)	場所	内容
6/15(土)	王子スタジアム	強化活動

(4) 目 的

練習試合形式でのクロックマネジメントに慣れる。

(5) 成 果（詳細報告は別紙にて提出ください。）

リード・ビハインドしている時や点数の差に応じたのシミュレーションをすることで戦術を固めることが出来た。

(6) 課 題

全ての状況を網羅しきれていない。引き続きセナリオを考えて勝負所を見極められるように感覚をつかみたい。

3.収 支 決 算 書

別記

収 支 計 算 書

選 手 強 化 事 業 No	4
加 盟 競 技 団 体 名	(公社) 日本アメリカンフットボール協会
助 成 対 象 事 業 細 目	選手強化活動
助 成 事 業 の 内 容	国内合宿
事 業 名	女子合宿-関西2

(収入) (単位：円)

科 目	合計
J O C 補 助 金 収 入	265,000
協 賛 金 収 入	0
入 場 料 収 入	0
参 加 料 収 入	0
そ の 他 収 入	0
自 己 負 担 金	132,992
合 計	397,992

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A) - (B)	
諸 謝 金	40,000	40,000	40,000	0	0
旅 費	357,992	357,992	357,992	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	0	0	0	0	0
補 助 金	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	397,992	397,992	397,992	0	0

公益財団法人 日本オリンピック委員会
会長 橋本聖子 殿

団体名 (公社) 日本アメリカンフットボール協会
会長名 寺田 昌弘

令和06年度選手強化NF事業 実施報告書

【 選手強化活動事業 ・ コーチ力強化事業 ・ 次世代アスリート育成強化事業 】
(海外合宿 ・ 国内合宿 ・ チーム派遣 ・ チーム招待 ・ 海外コーチ設置 ・ コーチ派遣)

【 強化活動のD X促進支援事業 】
※ ○ で囲んでください。

標記に関し、選手強化NF事業を実施したので報告します。

1. 事業名 男子合宿-関東2 (KCFA FLAG Bowl)

2. 事業内容

(1) 参加者名、人数 (参加者名簿に記載) (2) 場所(国・都市名) アミノバイタルフィールド

(3) 期間・日程 2024年06月29日 - 2024年06月29日 (1) 日間

月日(曜)	場所	内容
6/29(土)	アミノバイタルフィールド	練習試合

(4) 目 的

練習試合を通じて試合勘と試合運びを確認。

(5) 成 果（詳細報告は別紙にて提出ください。）

パスのタイミングや相手の動きに応じてプレイをアジャストする理解が深まった。

(6) 課 題

攻守共にしっかりコミュニケーションをとる必要性あり。

3.収 支 決 算 書

別記

収 支 計 算 書

選 手 強 化 事 業 No	5
加 盟 競 技 団 体 名	(公社) 日本アメリカンフットボール協会
助 成 対 象 事 業 細 目	選手強化活動
助 成 事 業 の 内 容	国内合宿
事 業 名	男子合宿-関東2 (KCFA FLAG Bowl)

(収入) (単位：円)

科 目	合計
J O C 補 助 金 収 入	170,000
協 賛 金 収 入	0
入 場 料 収 入	0
参 加 料 収 入	0
そ の 他 収 入	0
自 己 負 担 金	86,240
合 計	256,240

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A) - (B)	
諸 謝 金	40,000	40,000	40,000	0	0
旅 費	216,240	216,240	216,240	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	0	0	0	0	0
補 助 金	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	256,240	256,240	256,240	0	0

団体名 (公社) 日本アメリカンフットボール協会
会長名 寺田 昌弘

令和06年度選手強化NF事業 実施報告書

【 選手強化活動事業 ・ コーチ力強化事業 ・ 次世代アスリート育成強化事業 】
(海外合宿 ・ 国内合宿 ・ チーム派遣 ・ チーム招待 ・ 海外コーチ設置 ・ コーチ派遣)

【 強化活動のDX促進支援事業 】
※ ○ で囲んでください。

標記に関し、選手強化NF事業を実施したので報告します。

1. 事業名 女子合宿-関西3 (New Era Huddle Bowl 参加)

2. 事業内容

(1) 参加者名、人数 (参加者名簿に記載) (2) 場所(国・都市名) MKタクシーフィールド

(3) 期間・日程 2024年07月06日 - 2024年07月06日 (1) 日間

月日(曜)	場所	内容
7/6(土)	MKタクシーフィールド	New Era Huddle Bowl

(4) 目 的

各大学のアメフト部OBが終結して行われる大会に参加し、外国チームを想定した試合をする。

(5) 成 果（詳細報告は別紙にて提出ください。）

多くの参加者から応援のメッセージをいただき、国を代表する意味を理解できた。

(6) 課 題

暑さが厳しくなりつつあるので疲労回復に注意したい。

3.収 支 決 算 書

別記

収 支 計 算 書

選 手 強 化 事 業 No	7
加 盟 競 技 団 体 名	(公社) 日本アメリカンフットボール協会
助 成 対 象 事 業 細 目	選手強化活動
助 成 事 業 の 内 容	国内合宿
事 業 名	女子合宿-関西3 (New Era Huddle Bowl 参加)

(収入) (単位：円)

科 目	合計
J O C 補 助 金 収 入	317,000
協 賛 金 収 入	0
入 場 料 収 入	0
参 加 料 収 入	0
そ の 他 収 入	0
自 己 負 担 金	163,186
合 計	480,186

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A) - (B)	
諸 謝 金	42,300	42,300	42,300	0	0
旅 費	333,686	333,686	333,686	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	0	0	0	0	0
補 助 金	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0
そ の 他	104,200	100,000	100,000	0	4,200
合 計	480,186	475,986	475,986	0	4,200

公益財団法人 日本オリンピック委員会
会長 橋本聖子 殿

団体名 (公社) 日本アメリカンフットボール協会

会長名 寺田 昌弘

令和06年度選手強化NF事業 実施報告書

【 選手強化活動事業 ・ コーチ力強化事業 ・ 次世代アスリート育成強化事業 】
(海外合宿 ・ 国内合宿 ・ チーム派遣 ・ チーム招待 ・ 海外コーチ設置 ・ コーチ派遣)

【 強化活動のD X促進支援事業 】

※ ○ で囲んでください。

標記に関し、選手強化NF事業を実施したので報告します。

1. 事業名

FFWC 2024 Finland

2. 事業内容

(1) 参加者名、人数 (参加者名簿に記載)

(2) 場所(国・都市名)

フィンランド、ラフティ

(3) 期間・日程 2024年08月23日 - 2024年09月01日

(10) 日間

月日(曜)	場所	内容
8/23(金)	羽田空港・関西国際空港	西日本組・東日本組がフィンランドに向けて出国
8/24(土)	ヘルシンキ→パユラティ	フィンランド到着、大会会場へバス移動
8/25(日)	パユラティ	体調管理・練習
8/26(月)	パユラティ	体調管理・練習
8/27(火)	パユラティ	大会一日目
8/28(水)	パユラティ	大会二日目
8/29(木)	パユラティ	大会三日目
8/30(金)	パユラティ・ラフティ	大会最終日 女子はラハティ競技場で3位決定戦
8/31(土)	ヘルシンキ	フィンランド出発
9/1(日)	羽田・関空	帰国

(4) 目 的

本事業の目的は、国内最高レベルの選手で構成された日本代表チームが世界選手権に出場し、強豪国との対戦を通じて自らの戦い方や競技力を検証することにあります。また、2028年ロサンゼルス五輪でフラッグフットボールが正式種目となることが決まってから初めて開催される世界選手権への参加を通じ、現時点における世界の競技レベルを把握し、今後の強化方針および課題を明確化することも重要な目的の一つでした。

さらに、男子代表においては、アメリカンフットボールのトップレベルで活躍していた選手をチームに加えて挑む初めての国際大会でもあり、決勝トーナメントを勝ち上がり、準決勝進出を目指しました。一方、女子代表においては、世界ランキング第3位という評価が実力に見合ったものであることを確認し、証明することを目的として準備が進められました。

本事業を通じて、日本代表は2028年ロサンゼルス五輪での成果最大化に向けた貴重な知見を得ることを目指しました。

(5) 成 果（詳細報告は別紙にて提出ください。）

男子代表は予選リーグは3勝0敗で首位通過。これは、日本が国際大会に選抜チームを構成して参加するようになった2018年以来、初めてのことでした。
さらに上位進出、準決勝出場を目標に据えていましたが、決勝トーナメント初戦で惜敗し、全7試合を終え、5勝2敗、大会11位で終えました。

女子代表は予選リーグは3勝1敗で2位通過。準決勝で、世界ランク2位のメキシコに敗れたものの、3位決定戦でオーストリアに逆転勝利を収めました。2021年の世界選手権は6位、2022年の The World Games は5位、2023年のアジア・オセアニア大陸選手権優勝と順調に成績を積み上げ、決勝進出を目標に掲げた今回は全8試合を終え、6勝2敗、銅メダルを獲得しました。

(6) 課 題

男子代表チームの課題：

攻撃面では、体格で優位に立つ諸外国の選手に対抗できる、1対1の勝負に強いユニットの形成が求められています。また、得点機会における得点率を向上させるために、高精度なオフェンスシステムの構築が必要不可欠です。守備面においては、相手のパスを奪う機会を増やし、インターセプト奪取率を向上させることが重要な課題となっています。

女子代表チームの課題：

攻撃面では、相手陣内深くまで攻め込みながらも、フィジカル（身体能力）、ファンダメンタル（基礎体力・基礎技術）の不足から得点に結びつかない場面が多く見られたため、フィジカル、ファンダメンタルの向上が急務となっています。守備面においても同様に、フィジカル、ファンダメンタル両面の向上が必要であり、さらに戦術理解度を深めることが重要な課題として挙げられます。

収 支 計 算 書

選 手 強 化 事 業 No	15
加 盟 競 技 団 体 名	(公社) 日本アメリカンフットボール協会
助 成 対 象 事 業 細 目	選手強化活動
助 成 事 業 の 内 容	チーム派遣
事 業 名	FFWC 2024 Finland

(収入) (単位：円)

科 目	合計
J O C 補 助 金 収 入	14,819,000
協 賛 金 収 入	0
入 場 料 収 入	0
参 加 料 収 入	6,848,820
そ の 他 収 入	0
自 己 負 担 金	2,940,371
合 計	24,608,191

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A) - (B)	
諸 謝 金	1,660,000	1,660,000	1,660,000	0	0
旅 費	33,655	31,620	31,620	0	2,035
渡 航 費	11,720,600	11,720,600	11,720,600	0	0
滞 在 費	8,895,326	8,895,326	6,890,000	2,005,326	0
借 料 及 び 損 料	113,106	31,000	31,000	0	82,106
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	589,567	391,611	391,611	0	197,956
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
委 託 費	55,685	0	0	0	55,685
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	36,212	0	0	0	36,212
補 助 金	0	0	0	0	0
保 険 料	491,480	491,480	491,480	0	0
そ の 他	1,012,560	1,012,560	1,012,560	0	0
合 計	24,608,191	24,234,197	22,228,871	2,005,326	373,994